

第 79 回国民スポーツ大会神奈川県予選会 開催要項

1. 名 称 : 第 79 回国民スポーツ大会神奈川県予選会
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大会役員 :

会 長	藤木 幸太				
大会委員長	中島 透				
競技委員長	内田 貴典				
大会役員	伊藤 一	江守 永	小野 真	鍵和田 和明	菊地 拓海
	佐々木 暁	佐々木 基喜	天明 太郎	西村 三雄	長谷川 宜彦
	畑中 和幸	三浦 浩幸	水原 健司	宮本 淳平	山田 瑛史
	山本 秀彦	飯田 松男			

幹事チーム : 神奈川県アイスホッケー連盟、アイスバンディッツ、ケッターズ、湘南 BRUTUS、NEC-B、

レフェリー委員長 佐々木 暁
レフェリー団 安藤 仁詩 大山 訓弘 奥山 美紀 鍵和田 和明 勝山 栄
河久保 昌利 近藤 健一 佐々木基喜 下山 浩二 立花 勝彦
田中 哲治 戸高 英明 中村 秀岳 長谷川 宜彦 畑中 和幸
本田 翔馬 山本 秀彦 吉岡 唯 吉田 見登留
他、日ア連公認レフェリー、チーム登録レフェリー、

大会医師 江守 永(県連医事委員長)、三辺 武幸(県連医事副委員長)
救急指定病院 重傷の場合は 119 番すること
軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)
横浜市救急医療センター TEL #7119(又は 045-222-7119)
5. 会 期 : 2024 年 11 月 1 日 ~ 12 月 25 日
6. 会 場 : KOSÉ 新横浜スケートセンター ・ 横浜銀行アイスアリーナ
7. 参加資格 : 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHf と呼ぶ)【一般】に 2024 年度登録をしているチーム及び選手と役員。同種に登録されたチームはすべて参加しなければならない。

注 1	大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により、2024 年 8 月 21 日までに県連宛到達したものを有効とし、大会出場を認める。
注 2	大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。失格となったチームは第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権にも参加資格を有しない。
注 3	県内【一般】登録チームに所属する選手について、本大会に出場した選手は第 72 回神奈川県選手権終了まで、県内チーム間の移籍は原則認めない。
注 4	審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注 5	大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えなかったチームは参加費以外に当該試合リンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。またその場合のリンク利用権は、不戦勝チームが有する。
注 6	不参加の連絡は「info」の後に「@kihf.net」まで mail 連絡すること。
8. 国体代表選手選抜方法 :

この大会に出場できても国民スポーツ大会の参加資格にあてはまらない選手は、県代表チームに選抜されない。
国民スポーツ大会選手選考委員会を設置し、本大会及びトライアウトの結果により県代表選手を決定する。

9. 参加チーム :

【A pool】 ケッターズ、EAGLES、ハマクラブ A、チームハセガワ B、箱根クラブ、Mavericks、神奈川大学、常盤台ユベントス、 8 チーム

【B pool】 神奈川メープルリーフ A、NEC-A、富士通 RED BULLETS、サンダーバード、S Blitz、イワトビペンギンズ、YOKOHAMA BAY BLUES、アイスバンディッツ、横浜 JETS、Big Buzz、スーパー・ケッターズ、上條会 Mao's、BERKS、B.B.KINGS、日産自動車ピストンズ、 15 チーム

【C pool】 横浜ダイヤモンドズ、ゼロックス・アイスホッケークラブ、NEC-B、ENEOS WAVES、横浜ガールズ、YOKOHAMA BAY JAZZ、サザンレッドウイングス、神奈川メープルリーフ B、ハマクラブ B、ロックホッパーペンギンズ、TUS オリオンズ、S Lightning、スパイラルスケートクラブ、湘南 BURUTUS、 14 チーム

県連審議委員会による出場停止処分: 無し

休部: チームハセガワ Z、リンクス、JINXS、荒鷲クラブ、チームハセガワ A

10. 大会形式

【A pool】 第 78 回国体県予選会の結果により、A pool 8 チームを 2 組に分け、4 チームのリーグ戦を行う。それぞれの組の 1 位同士で優勝決定戦を行う。各組の最下位チームは次回国体予選会の B pool へ降格する。最下位チーム以外は次回大会の A pool に残留する。

各組の分け方は第 78 回大会の結果により、A group: 1・4・5・8 位と B group: 2・3・6・7 位とする。

【B pool】 A pool、C pool 以外のチームを B pool とし、トーナメント形式にて優勝、準優勝を決定する。B pool 優勝、準優勝チームは次回国体予選会の A pool へ昇格する。組み合わせにより 1 回戦不戦が生じる場合は第 71 回神奈川県アイスホッケー選手権の結果によりシードする。

第 1 試合で敗退したチームは、敗退したチーム同士で 1 試合の敗者交流戦を行う。但し、シードチームが敗退した場合の交流試合については行わない。

【C pool】 第 72 回神奈川県アイスホッケー選手権の 4 部 5 部のチームを C pool とし、トーナメント形式にて優勝、準優勝を決定する。C pool はボディチェック禁止ルールを適用する。組み合わせにより 1 回戦不戦が生じる場合は第 71 回神奈川県アイスホッケー選手権の結果によりシードする。

第 1 試合で敗退したチームは、敗退したチーム同士で 1 試合の敗者交流戦を行う。

11. 参加費 : A pool 算定中
B pool 算定中
C pool 算定中

上記参加費を下記口座へ 11 月 20 日までに振り込むこと。なお、期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めないこととし、県連審議委員会により処分を科する。

振込先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟

12. 競技規則 : 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則としてIIHF 公式規則で行う。23-24 シーズンルール変更を適用する。

補助規則 (ローカル・ルール) :

- a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは 0 対 1)とする。
この場合、審議委員会により罰則を科す。
- b. 出場資格はあるがオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。
- c. ベンチには、ゴールテンダー2名・スケーター20名の計22名、役員6名迄入ることができる。
- d. IIHF ルール第21条に基づき、試合開始整列時に1名のゴールテンダーと5名のスケーター、役員1名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなし不戦敗(スコアは0-1)とする。
また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数(3名のスケーター)をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。
- e. ユニフォームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。
- f. ベンチとホームチーム
A pool ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、ホームチームとする。優勝決定戦のみパックスでホームを決定する。
B pool C pool ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側で仮ホームチームとしパックスによりホームを決定する。なお、試合日程表は第71回県選手権の結果による上位チームを左側として記載する。
- g. すべてのプレイヤーはマウスガードを使用しなければならない。マウスガードは氷上に落ちたとき目立つカラーリングを施したものを使用すること。フルフェイス着用でもマウスガードは必須とする。ゴールキーパーは必須としない。
- h. 1974年12月31日より後に生まれた選手はフェイスケージまたはバイザーかフルバイザーを着用しなければならない。バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール第9条7)
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。
- i. 大会開始日に20歳以下のすべてのプレイヤーは、フェイスケージまたはバイザーがフルバイザーを着用し、マウスガード、首とどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHF ルール第202条)
該当選手は、「T」の表示をプログラムに明記する。
- j. 大会開始日に18歳以下のすべてのプレイヤーは、パックスもスティックのブレードも貫通できないように作られたフェイスケージ及び首とどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHF ルール第202条)
該当選手は、「F」の表示をプログラムに明記する。
- k. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
- l. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ10cm)がついたジャージを着用しなければならない。(IIHF ルール第9条2)
- m. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニフォームを用意する事が望まれる。
- n. ユニフォームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性がある場合とレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。
- o. 3回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。(ゲームシートのNOTES欄に「時間・番号・3回目のペナルティにより退場」と記す。20分のペナルティは加算しない)
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
①単独のマイナーペナルティ(2分)は、カウント1。
②ダブルマイナーペナルティ(2分+2分)は、カウント2。

- ③INTER・TRIP・HOOK・SLASH・BOARD・CHARG・ELBOW のペナルティは 2 分の場合カウントは 1。5 分の場合カウント 1 とします。5 分が 2 回目の場合は自動的に 5+GM になるのでその時点で退場となります。
- ④ABUSE、UN-SP などの単独の MISC(10 分)は、カウント 1。
- ⑤ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る代行者本人のペナルティではないため)
- ⑥ゴールキーパーのディレイ(遅延行為)のペナルティは 3 回にカウントしない。

- p. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本分以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。
ヘルメットの耳カバーは 2024 年 8 月 31 日までに装着すること。それ以降未装着での出場は認めない。
- q 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をすることができる。
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。(IIHF ルール第 6 条 1)
- r. C pool に適用されるボディチェック禁止ルールについて
相手の胴体を狙ったチェック(ボディチェック)を禁止する。
(ボディ以外へのチェックは元々禁止されている)
パックに対してプレーすることにより生じる必然的、自然的なボディコンタクトは問題ない。また、両選手の意図しない偶発的な衝突は問題としない。
このルールに違反した場合「イリーガルヒット」とし程度によりマイナーペナルティ、メジャーペナルティ、あるいはメジャー+ゲームミスコンダクトペナルティが課される。
- s ユニフォームのネーム規定 (IIHF ルール第 9 条 2)
現行のユニフォームの使用にあたっては適用せず、2026 年 9 月 1 日より日ア連登録された氏名の姓のみとする。ユニフォームの新調時(チームとしても個人としても)には規定どおり日ア連登録された氏名の姓のみとすること。緊急的に借りたユニフォームで出場する場合はネーム部分を同系色の生地で隠すか修正すること。テープ張りでの修正は禁止する。
ユニフォームのタイストラップ規定 (IIHF ルール第 9 条 3)
- t. 今大会は未装着の現行ユニフォームの使用を可とする。ユニフォームの新調時(チームとしても個人としても)には規定どおりタイストラップを装着のこと。2025 年 9 月 1 日より完全義務化とする。なお、未装着で試合に参加の場合はユニフォームがパンツの上にかぶさるように正しく着用してベンチから出てくること。

13. 競技時間 :

- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により残り試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は、PSS (サドンデス方式)にて勝敗を決定する。
なお、A pool リーグ戦・B pool 敗者交流戦で第 3 ピリオド終了時同点の場合は引き分けとする。
- b. タイムアウトは A pool 優勝決定戦のみ有り、その他はなしとする。
- c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。
- d. ロス込時間の取り扱い
得点時及びペナルティ発生時は時計を止め次のフェイスオフでスタートする。

14. A pool 順位 :

- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3

- 点、引き分けには各 1 点を与える。)
- b. 勝ち点在同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。
 - c. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - d. 対戦結果で順位がつかない場合は、総ペナルティータイムの少ないチームを上位とする。
 - e. 総ペナルティータイムが同一の場合は、総得失点差、総得点の順とする。
15. 第 59 回全日本アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会(仮称)参加資格:
A pool 優勝チームには 2025 年に開催される第 59 回全日本アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会(仮称)の参加資格を付与する。
16. オフィシャル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4 名以上)で試合開始 20 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。
また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。
17. レフェリー :
A pool 4 人制で行うことを原則とする。一部 3 人制とする場合がある。
全てレフェリー委員会から派遣する。
B pool C pool、3 人制で行うことを原則とする。
主審はレフェリー委員会から派遣しラインパーソンは状況に応じチーム登録レフェリーに協力を願う。
18. スーパーバイザー :
a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームに 1 名のスーパーバイザーを置く。
b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
c. スーパーバイザーは、本年度幹事チームから派遣する。
19. 試合中の傷害 : 試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。加入していない選手・役員は大会出場できない。
20. 懲戒委員会 : 委員長 伊藤 一
委員 中島 透、佐々木 暁、内田 貴典、他 1 名、
21. 登録・出場資格に関する問い合わせ先 :
鍵和田 和明 <アドレス:「info」の後ろに「@kihf.net」をつける>
22. その他 : 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、競技委員会にて別途協議をする。